

(兼題)

「新人」

岸 桂子 選

佳句

新人も負けてはいない棒グラフ
新人類の暴走ブレーキ痕がない
颯爽と肩で風切るフレッシュマン
新人は春めく風に武者震い
美しい新人ちよつと嫉妬する

人

敬子
寿美
弘子
祐次
治代

新人の疲れピークの金曜日

地

清水美智子

遠慮せぬニューフェイスの度胸よさ

天

伊藤 玲子

ニューフェイス古い社風を裏返す

軸吟

三島 淞丘

新人に先を越された口惜しさ

岸 桂子

(兼題)

「生きる」

富田 蘭水 選

佳句

脱皮して飾らぬままに生きてみる
生かされて私の胸に咲いた花
エンピツと豊かに生きる十七字
生きている証しのシワが深くなる
限りなく続く明日を見て生きる

人

美千代
美江子
あきら
たえこ
あきら

それなりに生きて明日を疑わぬ

地

三島 淞丘

今日と言う日を大切に生きている

天

佐藤 治代

神様が生きる生きるとはつば懸け

軸吟

銭山 昌枝

生きる為日々健康を願ってる

富田 蘭水

(兼題)

「便り」

佐藤 治代 選

佳句

ストレスがかすかに溶けてゆく便り
便りからメールに成って怪しいよ
森便りもうすぐ山も動き出す
追伸に本音が書いてある便り
つがい鳥春の便りを乗せてくる

人

桂子
すみこ
らんまん
ちかし
淞丘

忘れられたか何の便りも来ぬ孤独

地

仲田美千代

御無沙汰の里の香りがする便り

天

仲田美千代

金釘と切手昭和が抜け切れぬ

軸吟

岡 あきら

お誘いの便り浮き浮きとまらない

佐藤 治代

(席題)

「匂う」

竹治ちかし 選

人

菜の花にやる気の匂いする窓辺
封切ればほんわか春が匂う文
梅匂う私の春が顔を出す

軸吟

小豆沢歌子
伊藤 玲子
珍部美江子

季には季の匂いに満ちている日本

天

竹治ちかし